

第 1 3 回 作手地域協議会 会議録【要約】

日時	令和 7 年 3 月 1 4 日（金） 午後 7 時 3 0 分～午後 8 時 5 0 分		公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
場所	作手総合支所 会議室		
出席者	委員 1 4 名（欠席者 9 名） 事務局 3 名	傍聴人数	0 名
次 第	1 あいさつ 2 情報の共有 3 報告事項 (1)第 1 2 回会議録について (2)令和 7 年度作手地域活動交付金 2 次募集予定案について 4 議事 第 2 次作手地域まちづくり計画の提出について 5 その他 (1)作手地域協議会委員の推薦書・承諾書の提出について (2)1 年の振り返りについて （配布資料） 次第、第 1 2 回作手地域協議会会議録【要約】、地域活動交付金 2 次募集予定案（日付仮）、第 2 次作手地域まちづくり計画		

1 あいさつ

荻野会長より挨拶。会議録署名委員を原田文可委員、鈴木育夫委員に依頼した。

2 情報提供

資産管理室より作手地区の公共施設に関わる意見交換会、公共施設マネジメントに関するシンポジウム、地域の公共施設のあり方をみんなで考えるワークショップの開催について紹介を行った。

【出された意見や質疑等】

(委員)

今後公共施設をどのようにする予定ですか。

(資産管理室)

機能の集約等を住民の意見を聞きながら財政力、人口にあった規模にしたいと考えています。

(委員)

資料は各戸配布されますか。

(資産管理室)

チラシや広報ほのかに掲載され4月15日に各戸配布されます。

また市のラインやこども園、学校で活用されているSNSなどでも広報を行っています。

(委員)

巴小学校跡地について新たな話し合いを行いますか。

(資産管理室)

巴小学校跡地については民間で利活用ができる制度を調整しています。

(委員)

有教館作手校舎の来年度新城市からの入学予定生徒数が16名とのこと。2年連続で入学者数が20人を下回ることになり、今後の入学募集が停止される要件を満たしてしまっています。しかし校舎を存続させたい思いがありますので、現在の情報を共有します。

3 報告事項

(1) 第12回会議録について

事務局より第12回会議録を資料に振り返りを行った。12団体が採択され団体に対する意見のまとめを共有した。

(2) 令和7年度作手地域自治区地域活動交付金2次募集予定案について

地域活動交付金の2次募集を行うときの予定案について説明を行った。令和7年度第1回地域協議会で2次募集を行うか採決を行い決定する。

4 議事

第2次作手地域まちづくり計画の提出について

第2次作手地域まちづくり計画策定検討会会長の齋藤純子氏から作手地域協議会荻野眞市会長へ計画書の提出が行われ、協議会で承認された。

齋藤純子会長より計画書作成までの説明や思いを聞いた。

・第1次まちづくり計画書が作成された10年前と現在では課題が異なると考え、課題の洗い出しを行いました。そこで、若者世代や高齢世代へのヒアリングを実施しました。また、作手小学校の6年生が総合学習でまちづくりについて学んでいることを受け、会議に参加してもらい、彼らの意見を聴きました。

・課題を洗い出した結果、基本的な柱は第1次まちづくり計画と変わらないことが分かりました。計画を推進するため、具体的な活動例を示しましたが、どれも重要な事業であり差がなく、優先順位をつけることができませんでした。

・目指す将来像として、「住み続けたい、住んでみたい、行ってみたい作手」を掲げ、その思いを込めて計画を作成しました。話し合いの中で「ど元気！つくで」という言葉が生まれ、今後はロゴや宣伝に活用できればと思います。

・また、計画書のイラストについては小学校に依頼している状況です。この計画で作手に住む住民がなにか行動を起こしてほしいと思っています。

【質疑等】

(委員)

P26ページについて協議会と活動団体の関係、連携について説明をお願いします。

(齋藤会長)

これまでの計画で進んでいなかった課題については、事業の受け皿となる人や団体がありませんでした。今ある団体に担い手となる団体が出来ればと思います。また計画策定委員のメンバーを再編して実行できる組織の1つになればと考えています。

地域協議会では予算配分の協議決定を行っています。策定委員会では、これまでできなかった課題に対し、行動にうつし計画を進める受け皿になるような、実行できる人や組織が出来ればと思います。

(委員)

これまでと同じ結果にならないか危惧していますがどう思いますか。

(事務局)

計画策定委員が計画を推進できるように活動する意見があります。今後そのような組織が増えればと思っています。

(委員)

この10年後を見据えた計画で10年後の想像ができ方向性が見えればよいと思います。活動もボランティアでもいいと思うし、予算が必要な事業もあれば、人の気持ちで行う事業もあると思います。この計画書で手を取り合って気持ちを合わせていくことが大切かと思っています。

(会長)

策定会議にオブザーバーとして参加して、策定委員さんが真剣に計画を考えているところを見ています。修正については3年後の見直しで更新していただければと思います。

(齋藤会長)

作手地域で行う計画なので策定委員も大変悩みながらもどかしさを感じながら考えてきました。みんなでやっていこうという思いが作手

地域に広がればと思います。

5 その他

(1) 作手地域協議会委員の推薦書・承諾書の提出について
事務局から提出書類の回収を行った。

(2) 1年の振り返りについて
会長よりつくで手作り村の情報館の改修について来年度の申し送り
としたい説明があった。
委員の皆さんから今年度を振り返って一言ずつ感想をいただいた。

【終了】